

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の

し て い ぶ ん か ざ い けん そ う ぶ つ

指定文化財(建造物)



場所

井原市井原町



時代

江戸時代



指定年月日

平成14(1927)年
3月12日



所有

善福寺



見学

見学可

しゃかどう

釈迦堂

新高総早倉矢
見梁社島敷掛
市市市町市町

井原市

浅里笠
口庄岡
市町市



この建造物について

このお堂は、天正年間(1570年代)、柳本八郎左衛門が、毛利家の家臣としてこの地方の領主となり、その曾孫甚左衛門正勝が、寛文6(1666)年に寄進した、井原市にある最も古い建造物である。

お堂には、ケヤキ、ツガ、クサマキを使用している。扉や梁などには、花や人物像の彫刻が施され、床はうぐいす張りである。棟札には大工の名が書かれている。

善福寺は、足利尊氏が南北朝の争乱の際に立ち寄ったと伝えられるところで、足利義満が応永3(1396)年に祈願所として建てたものである。